

(6) 2016年(平成28年) 3月31日(木曜日)

「来世があるかないか分からぬ。だから、そんな推測に時間を使うより、今この世界で幸せに生きることが大切だ」と思う人は多い。もし、来世についての教えや、考え方、根拠のない伝承や、神話や、教義によるものであるならば、その通りであろう。不思議な臨死体験をして生還し、確信をもって「天国を体験して戻ってきた」と証言した。だが、それだけを信じて、自分の未来、永遠を託す人はそう多くはないであろう。

世界のキリスト教会では、先週、イースター(復活節)を記念した。世界にはいろいろの宗教があるが、その開祖自身が「復活した」ということを信仰の土台としている宗教は見当たらない。実際に不思

議なことである。

キリスト教は、ローマ帝国の支配下にあった中東の小さな国ユダヤで、西暦30年ごろに始まり、過去2000年近く歴史を動かし、なお信仰者が増加している。クリスチャ

ンたちは、なぜ「キリストは復活した」と信じて、自分起きたことの真実な記録であるが、その根拠は、どこにあるのであろうか。

①歴史的に存在し続いている聖書と教会。

②その聖書が神話やおとぎに、説得力を持つて否定できない人には、いまだかつていない(試みた人はいたが)。そのイエス・キリストが確かに死んで埋葬され、足掛け3日目に復活し、その後40日間にわたり、時を替え、場所を変え、次々と弟子たちに出会い、時には共に食事までしたと聖書は明言している。

③復活のキリストに出会った人たちの劇的な変化。実は、11弟子たちでさえ、キリストの予告(受難後3日目に復活すると、何度も)を本気で信じていなかつた。ゆえに、キリストの死刑執行の時は、自分も逮捕されることが、キリストの復活の時に、死罪に処せられることを恐れて逃げた。その後は戸締りを厳重にして隠れていた。だからキリストの教え

を宣揚するどころではないのである。

その弟子たちが、180度変わった。そ

の後彼らは、一人の落伍者もな

く世界各地に旅して、終生

「イエスキリストは復活し

た」と宣べ続けたのである。

ほとんどみな、殉教の死を遂

げた。しかも、その中には、

キリストの半兄弟であるヤコブとユダもいた。彼らは、復

活前のイエスを信じていな

かったが、その後、回心し

「イエスキリストは、救い主

である」と宣べ伝え、書いた

のである(その手紙が新約聖書に含まれている)。

「死んだら終わり」ではなく、「死んだら終わり」ではな

いことが、キリストの復活の

事実によって証明され、信仰

者の今に、確信と望みと生き

甲斐を与えていた。

(ミッション・ピエホ日本

南加キリスト教教会連合 人間は「死んだら終わり」か? ——来世(生)の確証

相原 雄二

基督教の確証として、聖書には、イエス・キリストの死と復活が記載されています。聖書によれば、キリストは、死んでから3日目に復活したとされています。この事実を証明する十分な証拠があること(これについての事実的な復活を信じている)。私自身、高校生の時から、イエスキリストと呼ばれていた。だからキリストの教え

ンたちは、なぜ「キリストは復活した」と信じて、自分起きたことの真実な記録であることを証明する十分な証拠があること(これについての事実的な復活を信じている)。私自身、高校生の時から、イエスキリストと呼ばれていた。だからキリストの教え